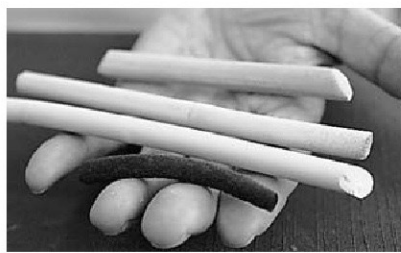


セシウム吸着樹脂 開発

エマオス京都福島で活用に期待

材料開発ベンチャーの「エマオス京都」(京都市右京区)は、放射性セシウムを吸着する樹脂「写真」を開発し



た。内部に複雑な空洞がある多孔性素材で、吸着面積が広いのが特徴。同社は「福島第1原発の汚染水対策に活用できれば」と期待している。

多孔性素材は消波ブロックが繋がったような構造で、空洞が連続しているのが特徴。同社は多孔性樹脂製品を開発・製造している。

今回、セシウムと結合する性質がある顔料「ブルシアンブルー」を混ぜた多孔性のエポキシ樹脂を開発した。

セシウム水溶液に一晚漬けたところ、濃度が50ppmからゼロ近くにまで下がったといい、吸着率を確認している。

同社は「作製方法は簡単で材料費も安い。増え続ける福島第1原発の汚染水対策向けに拡販したい」としている。(三村智哉)